

# 船舶事故調査報告書

令和元年 12 月 18 日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年 5 月 8 日 14 時 08 分ごろ
発生場所	山口県徳山下松港第 4 区 白浜山三等三角点から真方位 145° 880m 付近 (概位 北緯 33° 57.0′ 東経 131° 51.6′)
事故の概要	プレジャーボート八千代丸は、北東進中、浅所に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年 8 月 15 日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 八千代丸、5 トン未満（長さ 6.34m）
船舶番号、船舶所有者等	291-35548 山口、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船首部外板に破口、船首部船底外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風速 約 2m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約 116cm（徳山）
事故の経過	本船は、船長が 1 人で乗り組み、友人 1 人を乗せ、釣りを終え、船長が船内の片付けをしながら北東進中、山口県下松市小島南方沖の浅所（以下「本件浅所」という。）に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首約 0.1m、船尾約 0.5m であった。 船長は、本件浅所の存在を知っていた。
分析	本船は、北東進中、船長が、船内の片付けをしながら航行したことから、本件浅所に接近していることに気付かず、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、北東進中、船長が、船内の片付けをしながら航行したため、本件浅所に接近していることに気付かず、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・航行中は、操船に専念し、船位の確認を適切に行うこと。